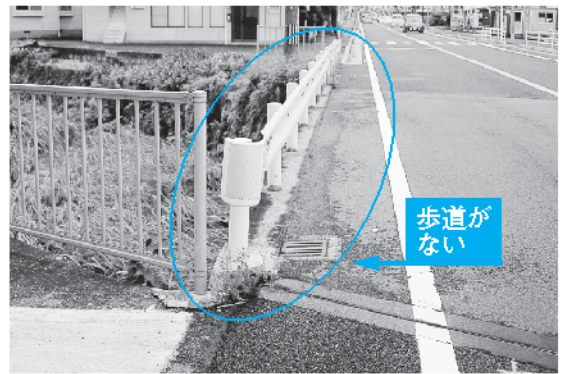


望した。継続して要望していたが、18年度に要望が聞き入れられ、地質調査と詳細設計をしていただいた。今年度下部工の工事が予定されており、平成20年度の完成を目指しているところであり、工事の際は、近隣の住民の方のご理解、ご協力をお願いすることである。

②都市計画道路久原池田線の供用開始が平成22年度予定であり、開通により交通量がかなり増加することが推測されている。供用開始予定の平成22年度までには改良を済ませたい。

**水道事業管理者** ②稲川内橋の件について国土交通省との協議等があり、工事に着手できない経過があったが、協議も整った。今年度JR岩松駅側の歩道について工事を行い、20年度については、稲川内橋側とあわせて高速の上の下稲川内地区の工事を20年度に行う。20年度末ではほぼ完了ということで計画している。

**(その他の質問事項)**  
・財政再建計画と市立病院の再建について



JR岩松駅前稲川内橋付近  
(諫早方面に向かって左側)

**住民の不安解消には誠意をもって「地域力」を高めるのは、住民と行政の一体感**

**神近議員**

①環境保全行政について  
東大村の処分場で発生している問題は、解決の糸口が見えず住民の不安は募り、行政に対する不信、不満は増している。今後どのような方策で住民の不安解消を図るのか。

②学園都市構想と環境問題  
高度な専門技術を有した研究機関・企業が進出している。こうした特性を活かし、環境や農業分野の新たな技術開発を目指す教育機関の誘致を提案する。

②防災について  
①緊急災害時の防災  
災害弱者と言われる方々の把握はどうなっているか。又、地域住民の協力「地域力」をどのように引き出そうとしているか。

②日常的災害の防止  
側溝の蓋や防犯灯の設置などの要望が多いが、危機管理の面からも重要な指摘であり、対応を真剣に考えるべき。

**市長** ①①許可権者は県であるが、住民とともにあるのは市であり、県と一体となって問題解決に努めていきたい。

**環境部長** 超過分をまず撤去させる方向で県と事業者で協議をされている。

**市長** ②長崎県は日本の西端に位置し、アジアに近く、また本市には国際線を持つ長崎空港があり、県環境保健研究センター、県工業技術センター等の研究機関が立地しているという優位性を活かし大学や研究室の誘致に結びつけたい。また、アジアに目を向けた仮称「アジア技術大学」のようなものが大村にできないか常々思っている。

**福祉保健部長** ②①地域の避難呼びかけについては消防団による避難情報の提供を行っている。また民生委員児童委員協議会で、各地域で要援護者見守りネ

ットワークづくりを展開し、災害時要援護者に該当する地域の対象者の把握をしていただいている。

**副市長** 全国的にも進められている自主防災組織の組織率を平成20年度までに現在の20%から40%に高めたい。

**市民生活部長** ②道路や公園などの公共工事の設計を行う場合、転落防止や段差解消等の高齢者や障害者に配慮し施行している。

**(その他の質問事項)**  
・郡川の河川改修計画について  
・久原池田線内の変則交差点の改良について

**市立病院を自衛隊病院として運営できないか**

**永石議員**

①市立病院について  
市立病院の再建の為6月議会に指定管理者制度の条例案が提出されましたが、大村には自衛隊が3部隊あり、隊員およそ3千人、家族とOB、OBの家族迄含めると1万5千人の方が自衛隊に関係があると思います。過去の経緯からいって海軍病院が国立長崎医療センター、陸軍病院が市立病院になったという歴史的事実として今日も3部隊が現存する中、自衛隊病院と